

水源の状況と天候の見通し (8月～10月)

1	東海地方の天候（7月）	1
2	ダム地点の降水量（7月）	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	（1）水源の状況	2
	（2）東海地方の3か月予報（8月～10月）	4

令和4年8月3日

（公財）愛知・豊川用水振興協会

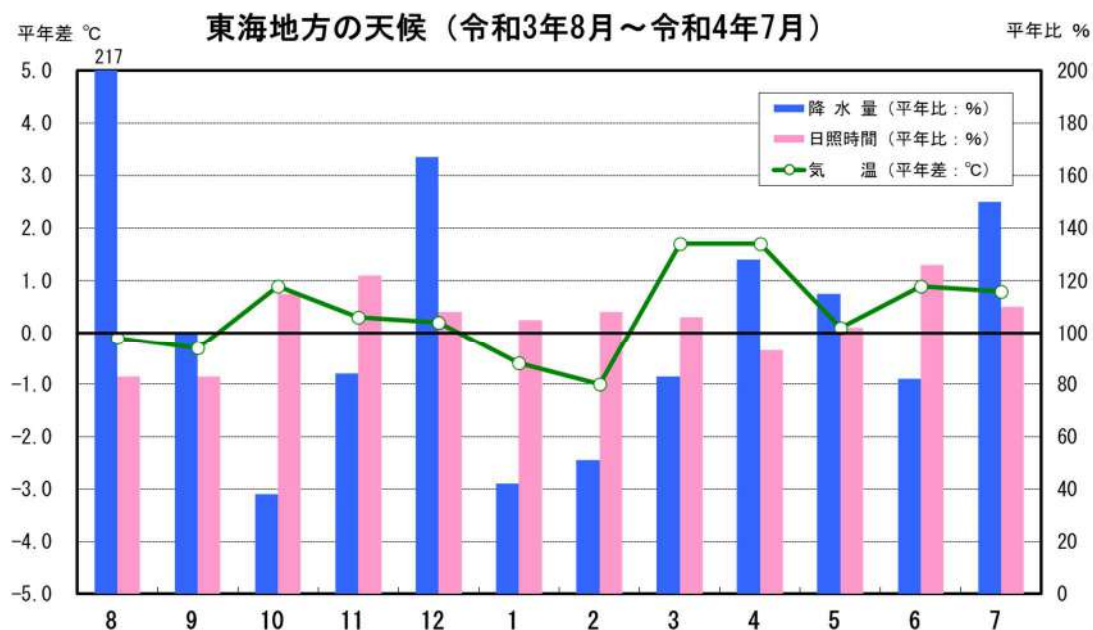
(<https://www.aitoyo.or.jp/>)

1 東海地方の天候(7月)

上旬のはじめや下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線、上空の寒気、暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため、まとまった雨が降り大雨となった日もありました。このため、月降水量は多くなりました。また、上旬や下旬の後半を中心に暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は高くなりました。

月の平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は「平年並」となりました。

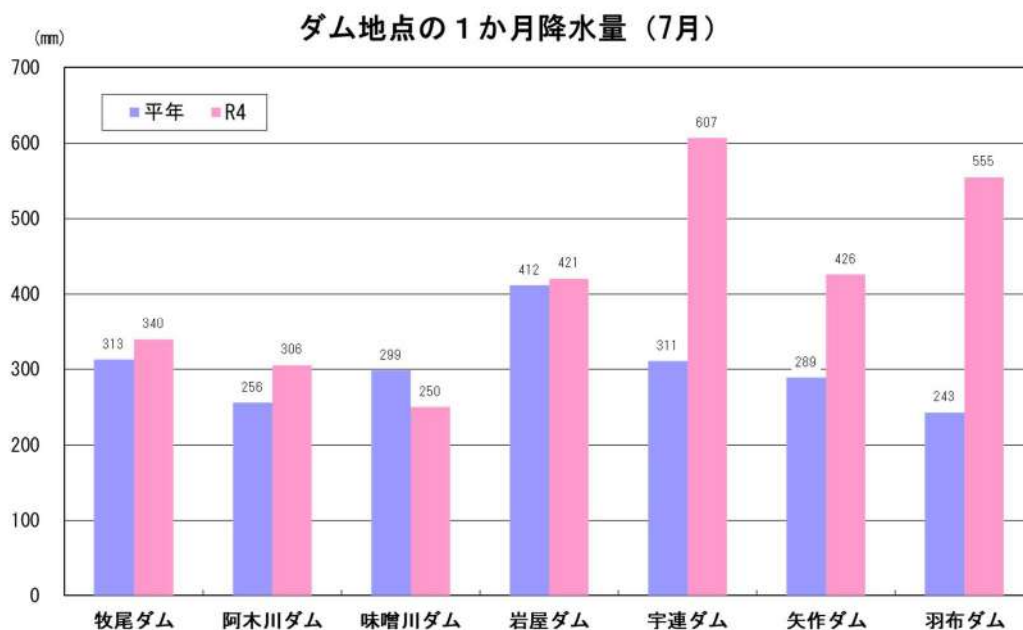
(名古屋地方気象台 令和4年8月3日発表資料を基に作成)



名古屋地方気象台発表資料を基に作成 (14地点の平均)

2 ダム地点の降水量(7月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比137%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和4年7月31日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧下さい。

「あいとよネット」で検索
[\(https://www.aitoyo.or.jp/\)](https://www.aitoyo.or.jp/)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R4.7.31

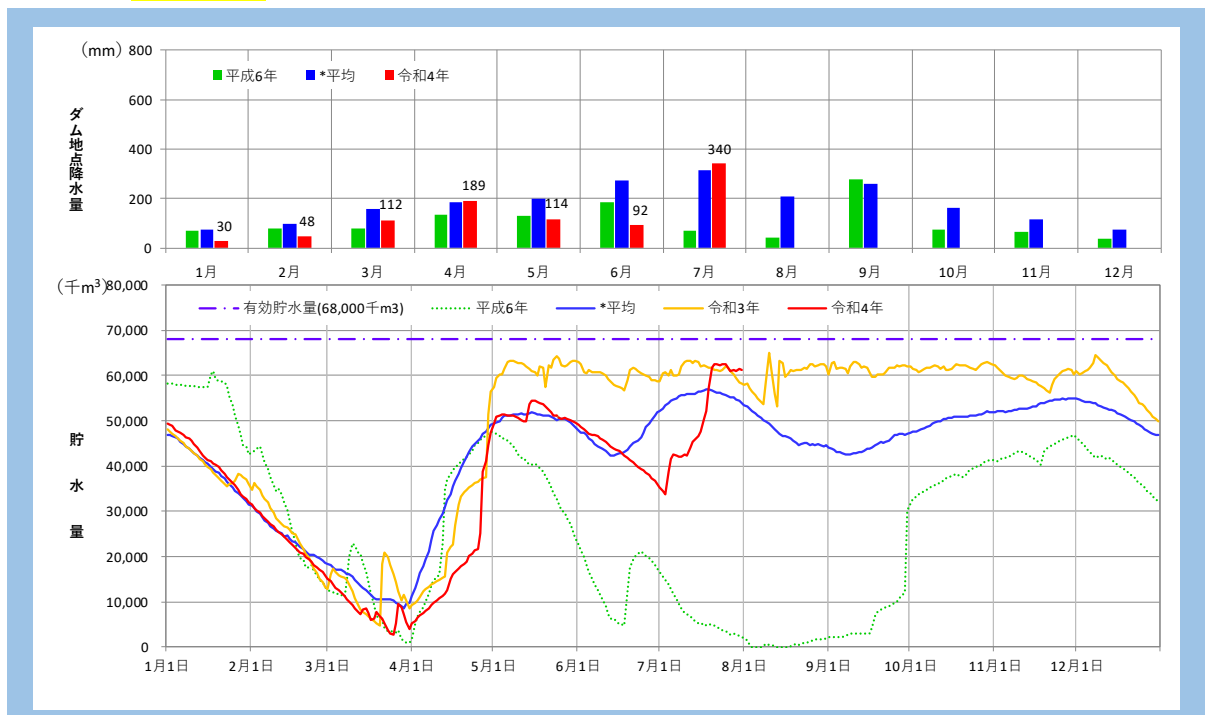
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	61,173	90.0	79.2	+ 10.8
阿木川ダム	22,000	22,000	100.0	92.7	+ 7.3
味噌川ダム	31,000	31,000	100.0	98.1	+ 1.9
岩屋ダム	61,900	61,900	100.0	96.2	+ 3.8
豊川水系					
宇連ダム	28,420	27,455	96.6	84.0	+ 12.6
豊川用水全体	51,820	50,472	97.4	86.8	+ 10.6
矢作川水系					
矢作ダム	50,000	39,800	79.6	82.1	△ 2.5
羽布ダム	18,461	16,956	91.8	82.0	+ 9.9

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページダム貯水率及び、ダム貯水量曲線に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **61,173 千m3** 7月31日 現在

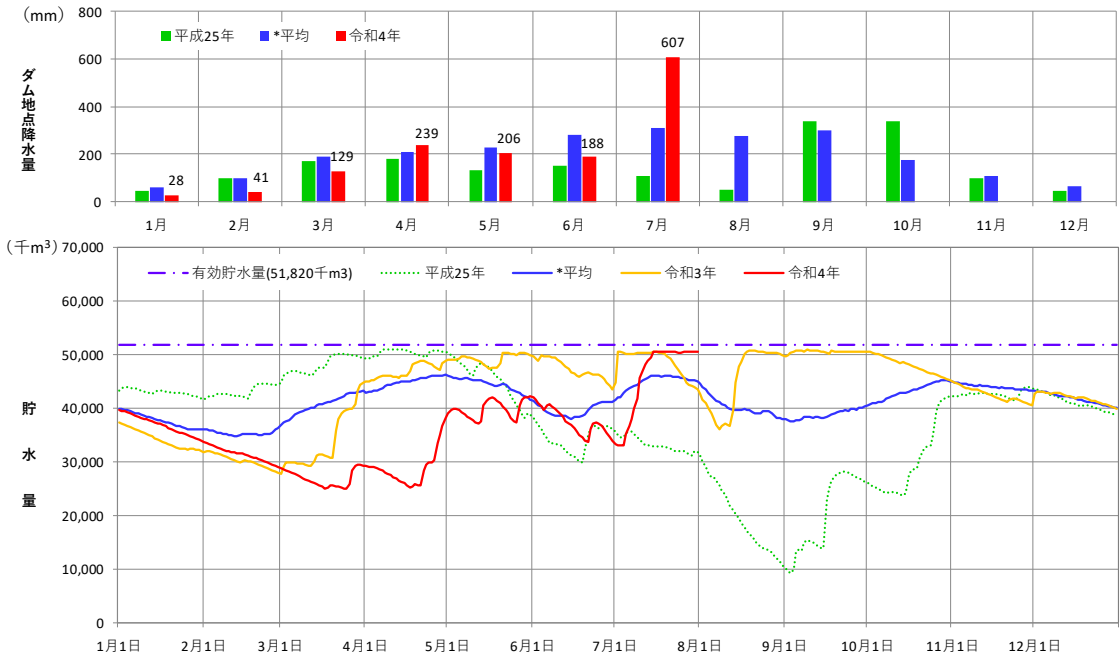


*平均: 昭和37年1月から令和3年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

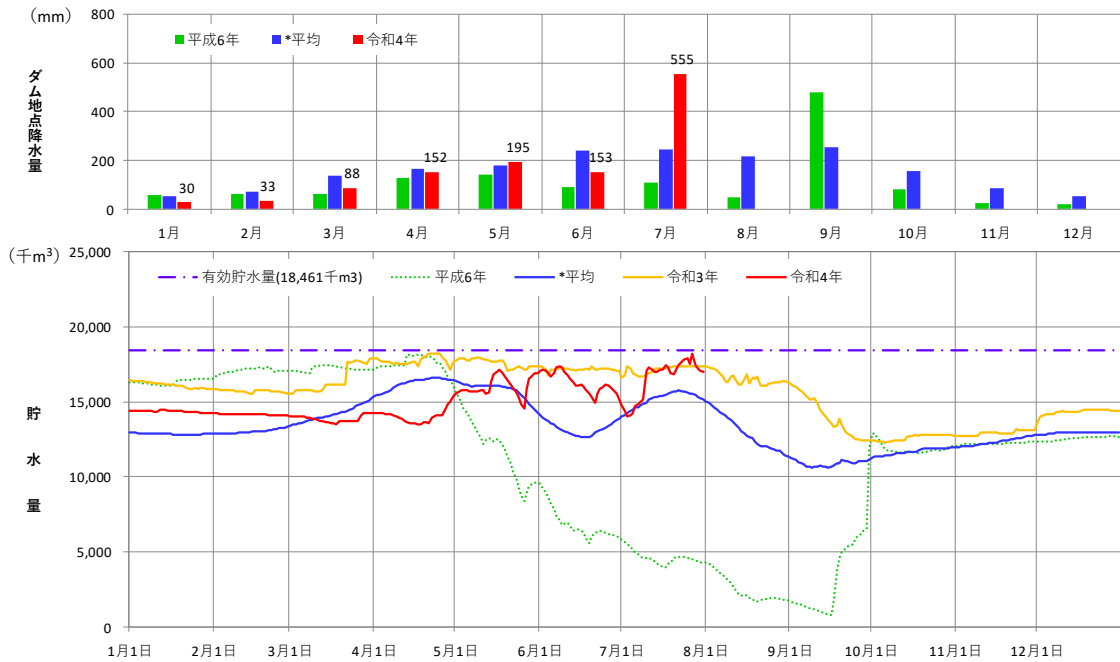
貯水量 **50,472 千m3** 7月31日 現在



*平均: 平成14年4月から令和3年12月 (雨量は昭和43年4月から令和3年12月)
 (データ提供: 独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **16,956 千m3** 7月31日 現在



*平均: 昭和39年1月から令和3年12月
 (データ提供: 愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(8月~10月)

(名古屋地方気象台 令和4年7月19日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(8月~10月)の平均気温は、下図のように、低い確率が20%、平年並が30%、高い確率が50%の予報となっています。

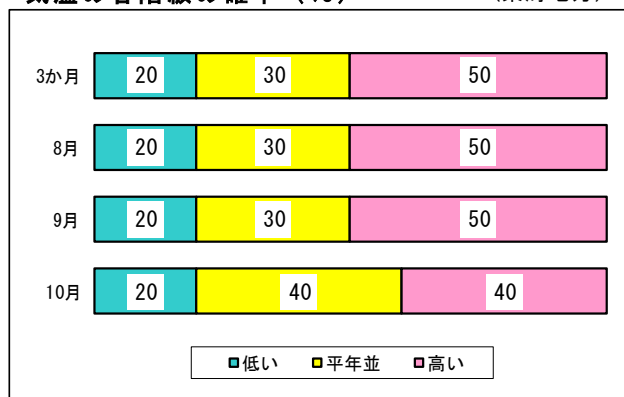


同様に、8月から10月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[+3]、8月、9月は[+3]、10月は[+2]となります。

気温の各階級の確率(%) (東海地方)

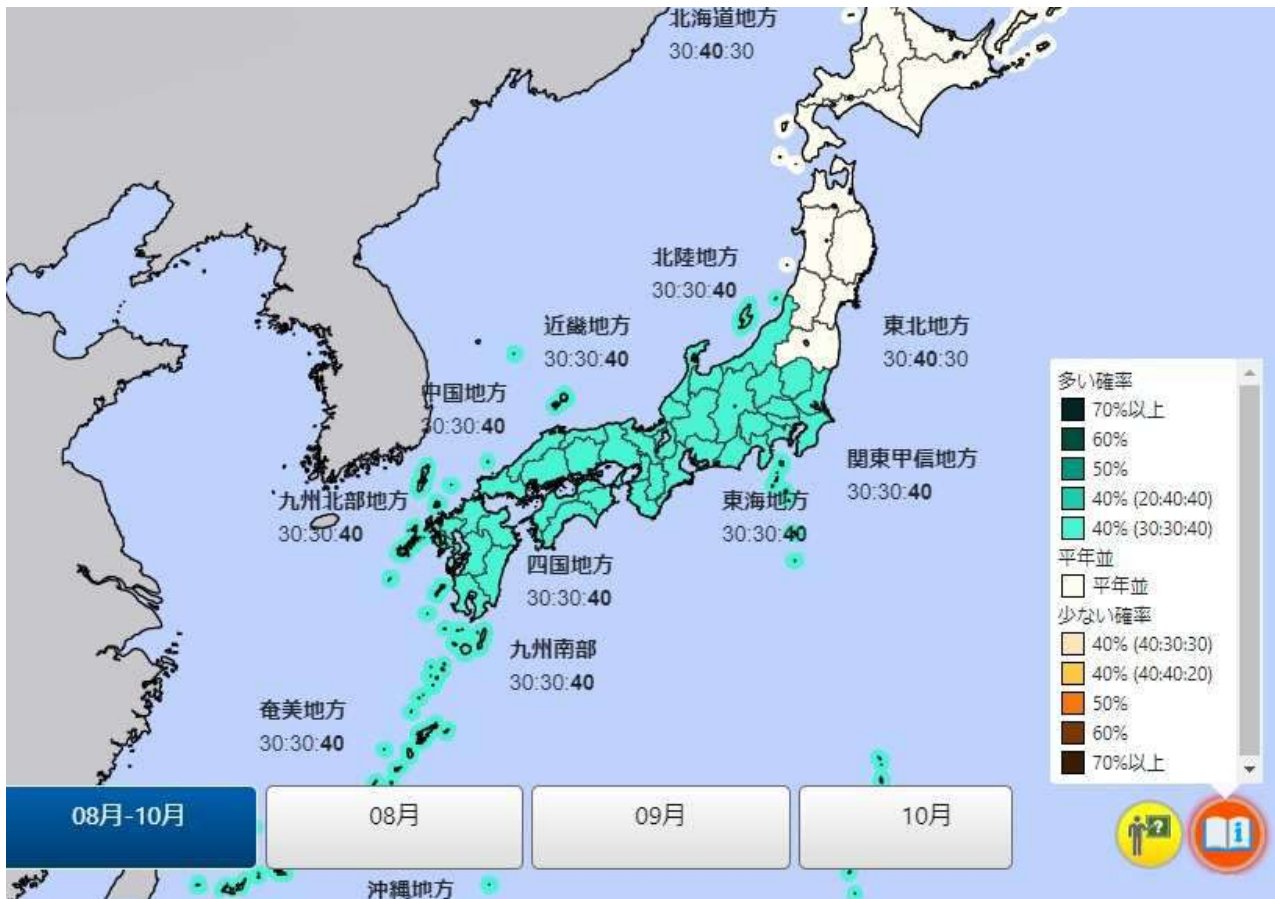


各階級の確率と等級 (東海地方)

気温	等級	予報確率	3か月	8月	9月	10月
高い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50	●	●	●	
	+2	20:40:40				●
	+1	30:30:40				
平年並	0					
	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20				
低い	-3	50: : :				
	-4	60: : :				
	-5	70: : :				

② 降水量

東海地方の3か月全般（8月～10月）の降水量は、下図のように、少ない確率が30%、平年並が30%、多い確率が40%の予報となっています。

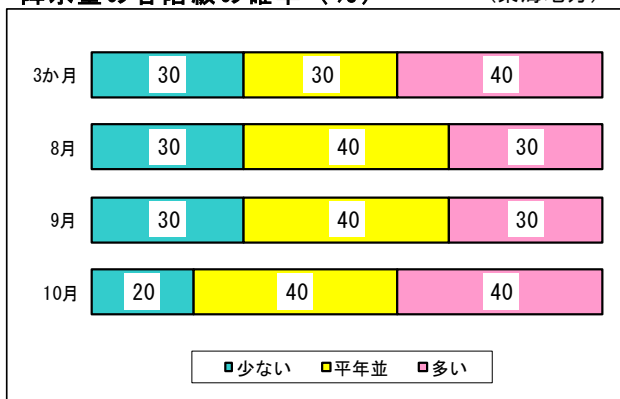


同様に、8月から10月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[+1]、8月、9月は[0]、10月は[+2]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	8月	9月	10月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40				●
	+1	30:30:40	●			
平年並	0			●	●	
少ない	-1	40:30:30				
	-2	40:40:20				
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				